

# 看護ひろしま

広島県看護協会報

2024  
July  
No.256

7

PRバスが市内を巡回!  
「看護の日・看護週間」  
PR事業を開催

初開催で大盛況!  
ひろしま看護フェスタ2024開催

【助産師コーナー】  
体験を通して伝える助産師の魅力

災害支援ナースの登録、派遣体制スタート

2024ひろしまフラワーフェスティバル  
「一日まちの保健室」開催



Hiroshima Nursing Association  
広島県看護協会  
会員数 / 合計18,835人  
(令和6年7月1日現在)



広島県看護協会HPはこちらから



広島県かんごちゃん

# 看護の日・看護週間



## 10:00 広島県庁

**看護の日PRバス出発式**  
 5月13日に「看護の日・看護週間」PRバスの出発式が広島県庁で行われました。  
 広島市民病院の看護師や本会職員など約50人が参加した出発式では、山根広島県副知事、北原広島県健康福祉局長、本会の山本会長がテープカットを行いPRバスの出発を祝いました。



start



## 10:35 広島市立白島小学校

広島市民病院の助産師3名が、広島市立白島小学校の5年生を対象に、いのちの大切さを伝える「看護の出前授業」を行いました。命の始まりが0.2ミリの大きさであることを聞いた後、ハートの形に切った折り紙に同じ大きさの穴を見つけ、歓声が上がりました。また、赤ちゃん誕生の動画では、お母さんの腕の中で産声を上げる赤ちゃんを真剣な表情で見入っていました。

最後に、助産師から「生まれてきてくれてありがとう。皆、かけがえのないいのち。自分のいのちもお友達のいのちも大切にしてくださいね」とメッセージが伝えられました。



## 12:00 イオンモール広島府中

次にバスは、安芸郡府中町にある「イオンモール広島府中」に移動しました。  
 広島東支部役員との協力のもと「まちの保健室」を開催し、16件の健康相談がありました。また「キッズナースキッズドクターなりきり体験」では、子どもたちや保護者の素敵な笑顔がふれていました。



finish



### PRバス スケジュール

- 10時00分 出発式：広島県庁
- 10時35分 看護の出前授業：  
広島市立白島小学校
- 12時00分 まちの保健室：  
イオンモール広島府中
- 13時30分 広島市内周回

## ひろしまナイチンゲール賞(知事表彰)紹介



写真左から山本会長、受賞された中谷 久恵様、西田 啓子様



# ひろしま看護フェスタ 2024

めざせナイチンゲール！  
看護の未来を見つけよう！

日時 / 令和6年5月26日(日) 13時～  
場所 / 広島国際会議場(ヒマワリ、ダリア)



5月26日(日)広島国際会議場(ヒマワリ、ダリア)にて、ひろしま看護フェスタ2024が開催されました。

今年の看護の日の関連事業は、体験型へ大幅にリニューアルしました。21世紀の高齢化社会を支えていくために、「看護の心をみんなの心に」をテーマに、若年層を中心にプロフェッショナルとして看護の魅力を発信しました。

開会式では、本会 山本恭子会長より看護師は「思いやる心、ケアの心、助けあう心」が必要で、将来私たちと一緒に働きたいと思ってもらいたい、看護の輪が広がっていくことを願っていると挨拶がありました。

続いて、小学生を対象にした絵画コンクールの表彰

式が行われました。31点の応募作品の中から、「広島県かんどちゃん賞」として3作品が選ばれ、賞状と副賞が授与されました。

看護への道「聞いてみよう！看護の仕事」では看護学生、保健師、助産師、看護師よりそれぞれの看護への想いを聞くことができました。看護の進路・進学相談ブースも設置されました。

ふれあい看護体験、キッズナース体験を通してスタンプラリーを行い、景品としてかんどちゃんの可愛いグッズをプレゼント。約365人の来場者、かんどちゃんも来てくれ、会場はとっても賑わった一日でした。



- 開会式
- 絵画コンクール表彰式
- 看護への道
- 看護の進路・進学相談

## 絵画コンクール表彰式

### 広島県かんどちゃん賞

今回が3回目となる絵画コンクールには多くの作品が寄せられ、その中から3作品が「広島県かんどちゃん賞」として選ばれました。ドクターヘリを描き、いろいろな場所で看護が求められていることを改めて感じさせてくれた作品、看護師と患者の距離感が絶妙に描かれた作品、一年を大切に生きる様子をちぎり絵で鮮やかに表現した作品は、子どもたちの素直な感性で描かれた素晴らしい力作でした。



受賞作品

## 看護への道

### 聞いてみよう！看護の仕事



看護学生



保健師



助産師



看護師

看護学生や現役の保健師、助産師、看護師に看護の道へ進んだきっかけや、仕事への思いを語っていただきました。

## 看護の進路・進学相談

県内の看護大学や看護専門学校など10校が集まり、中にはVR体験できる学校もありました。中学生や高校生が行列を成す大盛況となりました。



### ダリア会場

- ふれあい看護体験
- キッズナース体験
- 「国際助産師の日」記念行事
- 災害支援ナースの活動紹介

## ふれあい看護体験

### ・AED体験コーナー

AED体験コーナーは、順番待ちがしばらく続くほど大盛況。小学生や中学生の参加者が多く、指導者の説明に誰もが真剣な表情。リズムに合わせて一生懸命に胸骨圧迫を体験し、熱気あふれるブースでした。



将来の夢は医療従事者になりたい



思ったより車椅子を押すのが重かった

### ・車椅子搬送体験

小学生の女の子は、母親を車椅子に乗せて搬送体験。



### ・自分の体を知ろうのコーナー

自分の体を知ろうのコーナーに来場した中学生の女の子は、聴診器で心臓の音を聞いたり、手首の脈に触れる体験も。



普段聞けない心臓の音を聞いてびっくりしました





## キッズナース体験

子どもたちが白衣を着てナースになりきるキッズナース体験。白衣やナースキャップを身に付け、聴診器を持つ姿は愛らしい未来のナースです。かんごちゃんも登場し、記念撮影に引っ張りだこでした。



## 手洗い体験



手洗い体験コーナーでは、「手洗いチェッカー」を使って、洗い残しがなくきちんと手洗いができているかを確認していただきました。

## 災害支援ナースの活動紹介



災害支援ナースの活動紹介コーナーでは、被災地で看護の支援活動を行う様子を紹介。実際に被災地へ持っていきリュックを背負う体験をした高校生は、その重さに驚いていました。



広島大学の学生さんがボランティアで会場の案内や体験コーナーなどをサポート。イベントの運営がスムーズにできました。皆さん、ありがとうございました。

## 「体験を通して伝える助産師の魅力」

助産師職能委員会

三浦 満

(医療法人あかね会 土谷総合病院)

今年の「国際助産師の日」記念行事は「助産師の魅力発見！見て、聞いて、感じて。」をテーマに胎児人形モデルの展示や赤ちゃんの抱っこや沐浴などの育児体験、妊婦ジャケット着用による妊婦体験、マタニティヨガの体験、DVD「うまれる」の上映を行いました。

たくさんの親子連れや看護の道を目指す中高生が訪れ、沐浴や妊婦体験のコーナーは行列ができるほどでした。小さなお子さんが助産師に手を添えてもらい沐浴する姿はそれを見つめる家族も含め微笑ましい光景でし

た。様々な体験を通しご家族で出産や子育て、命について語る機会となったようでした。また、進路相談後、助産師と直接話したいと訪れる親子もおられ、私達の後に続く未来の助産師の誕生に期待が膨らみました。終了間際まで人の流れは途切れることなく助産師職能委員全員一丸となって、母子の命を支える助産師の仕事を発信でき心地よい疲れと充実感に満ちた記念行事となりました。



## 2024 ひろしまフラワーフェスティバルで 「一日まちの保健室」を開催

5年ぶりの通常開催となったフラワーフェスティバルは絶好の行楽日和に恵まれ、過去最高の賑わいとなりました。

本会では、『一日まちの保健室』を出展し、昨年に引き続き、認知症、摂食嚥下障害、糖尿病、心不全の認定看護師と介護支援専門員が県民の健康相談に対応しました。3日間で270件の相談があり、血圧測定をきっかけに日々の困りごとを相談されるケースや、独居高齢者や、認知症患者の家族から今後の生活に対する不安の相談が多くありました。

地域包括ケアを推進するためには、病院に勤務する看護師も地域に出向いて専門性を発揮することが必要だと感じました。



# 災害支援ナースの登録、派遣体制スタート

令和6年4月の感染症法、医療法の改正に伴い、新しい仕組みの災害支援ナースの登録、派遣体制がスタートしました。新たな仕組みでは、大規模自然災害発生時や新興感染症発生・まん延時には、災害支援ナース養成研修修了者のうち、広島県と派遣協定を締結した施設に勤務する看護師が被災地に派遣されます。現在、69施設が派遣協定を締結しています。

災害支援ナース養成研修は、20時間のオンデマンド研修（総論2時間、災害各論9時間、感染各論9時間）と集合研修（災害、感染症各1日）で構成されています。

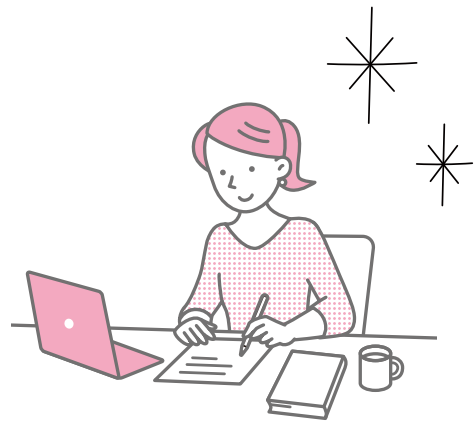
令和5年度、本会では集合研修を2回実施し、129名が養成研修の全課程を修了し、災害支援ナースとして日本看護協会、広島県に登録されました。



## 継続教育部からのお知らせ オンデマンド研修の詳細が決まりました！

### オンデマンド研修とは？

- 収録した講義をインターネットで学習
  - 自分のペースで受講できます
- 配信期間中、いつでも・どこでも・  
繰り返し学習できます



### 2024年度のオンデマンド研修

研修No.38 「超基本 “すぐに役立つ” 心電図の読み方」

申込期間：7/25～8/5

配信期間：11/5 (9:00) ～ 11/28

詳細については、本会HPをご確認ください！

本会HP → 研修一覧 → 2024年度 → 11月

広報委員の  
元気の源



看護週間エッセイ

看護師になったきっかけ

5月13日、看護の日と看護週間のPRバスが広島県庁を出発し、市内を巡回しました。私も一目見ようと県庁に行きました。ご当地かんごちゃんも描かれ華やかでした。自分はなぜ看護師になったのか。一般企業で働いていた24歳の時、ふと立ち寄った書店で目に入った「死ぬ瞬間」(著者:キューブラ・ロス)という一冊の本。多くの末期患者と対話する著者に感銘し、自分も命に向き合う仕事がしたいと思ったのが看護師を目指すきっかけでした。早いものであれから30年。これからもこの仕事に誇りを持って努めていきたいと思ひます。(中塚 隆)

広島県看護協会報 看護ひろしま

7月号 / 256号

発行 2024年7月

発行所 公益社団法人 広島県看護協会

〒730-0803

広島市中区広瀬北町9-2

TEL:082-293-3362

発行責任者 山本 恭子

編集 広報委員会

制作 有限会社バル